

第1回 多治見市補助金見直し市民委員会会議録（要旨）

日時：令和4年6月10日（金）10:00～11:30

場所：多治見市役所 4階会議室

＜出席委員＞ 原委員、伊藤委員、上村委員、山下委員

＜欠席委員＞ 佐藤委員

＜事務局＞ 桜井財政課長、山内、柏木、玉置

1 委嘱状の交付

2 財政課長あいさつ

3 自己紹介

4 委員長及び副委員長の互選

委員長 原委員

副委員長 伊藤委員

5 議題

（1）令和4年度補助金・交付金の見直し委員会について

①見直し委員会実施主旨

②補助金等の概要と実績

③見直し対象とする補助金等の抽出について

④今後のスケジュール

（2）見直し対象補助金及び交付金の説明

（3）次回の日程について

【主な意見等】

（2）見直し対象補助金及び交付金の説明

委員	資料2－①NO.3「東京圏からの移住支援事業」について、具体的にどこからの転入者を対象としているのか。
事務局	東京圏（埼玉、千葉、東京、神奈川）からの転入者が該当する。元々、当該補助金は県の補助事業であったが、県が廃止し、その代わりに市が補助メニュー化。財源は県支出金である。
委員	前回見直し（H30）以降、新型コロナウイルス感染症対策の補助金が多く新設されているとのことだが、コロナの影響が減少するに伴い、こうしたコロナ対策補助金が廃止となった場合、利用者が既存の補助金に移行することは考えられるか。
事務局	既存の補助金を活用することも想定されるが、アフターコロナ対策として、需要に合わせた、新たな補助金を創設することも考えられる。
委員	委員会資料の「補助金一覧表」において、ハード事業なのかソフト事業なのか、個人向けなのか事業者向けなのか一目でわかるとよい。また国・県制度に基づいているのか、財源の内訳についても、一覧表に含めるとよい。

事務局	一覧表を修正する。
委員	各補助金はいつ終わりにするのか。
事務局	予め期限を決めているもの（サンセット方式）、期限はなく需要がなくなってきたタイミングで必要性について検証し、廃止するものがある。

（３）次回の日程について

事務局	第２回委員会の日程については、６月末を予定している。 各委員のスケジュールを確認し、改めて連絡する。
-----	---